

- 問1 本州四国連絡橋の3つのルートのうち、岡山県を起点として香川県へとつながる「児島・坂出ルート」が持つ、他の2つのルート（神戸・鳴門ルート、尾道・今治ルート）にはない交通上の大きな特徴を説明したものととして、正しいものを選びなさい。（2018年 大阪府公立入試 類似）
1. 自転車や歩行者が専用道路を通じて渡ることができる唯一のルートである。
 2. 本州と四国を島を介さずに直接一つの橋だけで結んでいる。
 3. 3つのルートの中で唯一、鉄道が走行できる構造になっている。
 4. 有料道路ではなく、一般国道として無料で通行することができる。
- 問2 日本海に面した北近畿から山陰地方にかけての沿岸部に位置し、地質学的に貴重な自然遺産を保護・活用している「山陰海岸ジオパーク」がまたがっている3つの府県の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）
1. 京都府・兵庫県・鳥取県
 2. 福井県・京都府・兵庫県
 3. 兵庫県・鳥取県・島根県
 4. 鳥取県・島根県・山口県
- 問3 日本の諸地域の産業構造について、広島県の特徴を「工業」と「観光」の両面から説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2016年 和歌山県公立入試 類似）
1. 製造品出荷額が8兆円を超えて非常に高く、さらに世界遺産などの観光資源により宿泊者数も多いという、工業と観光のバランスが取れた構造である。
 2. 宿泊者数は4県の中で最も多いが、製造品出荷額は1兆円を下回り、観光業への依存度が極めて高い。
 3. 農業産出額においてミカンなどの果実が占める割合が突出しており、製造業は地場産業を中心とした小規模なものに留まっている。
 4. 製造品出荷額よりも農業産出額の方が大きく、特にサクランボや米の生産に特化している。
- 問4 愛媛県において、米や野菜など他の農産物に比べて、みかんなどのかんきつ類を含む「果実」の生産が非常に盛んである理由として、地理的な環境の観点から最も適切な説明はどれですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）
1. 年間を通じて降水量が非常に多く、常に大量の水を必要とする果実の栽培に適しているため。
 2. 広大な平野を活用し、大規模な機械を導入することで効率的な生産が可能になったため。
 3. 冷涼な気候を活かして、他の地域では栽培が難しい高冷地野菜を生産しているため。
 4. 急な斜面が多く、日当たりや水はけが良い土地条件を活かして栽培が行われてきたため。
- 問5 瀬戸内海に位置する香川県の小豆島では、地域の気候特性を活かした農作物の栽培が盛んです。「年間を通じて降水量が少なく温暖である」という、地中海沿岸の気候に似た条件を活かして栽培されている特産物はどれですか。（2019年 兵庫県公立入試 類似）
1. りんご
 2. オリーブ
 3. さくらんぼ
 4. さとうきび
- 問6 鳥取県の人口と世帯数の推移をまとめた統計資料において、総人口が減少している一方で、世帯数は増加傾向にあるという特徴が見られます。このような現象が起きている背景として最も適切な説明を、次の中から選びなさい。（2021年 鳥取県公立入試 類似）
1. 住宅不足を解消するために、複数の世帯が一つの住居に同居する形態が一般的になったため。
 2. 核家族化や高齢化が進み、一人暮らしや二人家族といった少人数世帯の割合が増えたため。
 3. 出生率が大幅に上昇したことで、一世帯あたりの子どもの数が増えたため。
 4. 県外からの大規模な移住が進んだ結果、5人以上の多人数世帯が増えたため。
- 問7 2010年における四国地方の農業産出額の統計（総額3,942億円）において、産出額が1,324億円に達し、全体の3割以上を占めていた品目はどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）
1. 米
 2. 野菜
 3. 畜産
 4. 果実
- 問8 瀬戸内海沿岸の地域では、北側の中国山地と南側の四国山地によって季節風がさえぎられる影響で、年間を通して降水量が少ないという特徴があります。このような気候条件のもと、農作物を育てるための水を確保する目的で、古くからこの地域で数多く作られてきた施設は何と呼ばれますか。（2020年 岩手県公立入試 類似）
1. ため池
 2. 干拓地
 3. 遊水地
 4. 輪中
- 問9 岡山県と香川県の経済的・社会的な結びつきについて説明した文として、統計的な事実に基づいた最も適切なものはどれですか。（2023年 栃木県公立入試 類似）
1. 岡山県と香川県は海を隔てているため、旅客の移動はフェリーが中心であるが、近年の高速道路料金の値下げにより広島県を上回る交流人口を維持している。
 2. 香川県は岡山県と陸続きで隣接しているため、瀬戸大橋を経由せずとも日常的な徒歩や自転車での往来が容易であり、旅客数が周辺県の中で最大となっている。
 3. 瀬戸大橋の開通によって交通の利便性が飛躍的に向上し、香川県を訪れる県外旅客のうち、隣接する岡山県からの割合が約半分に達するほど交流が活発である。
 4. 香川県の人口は約97万人であり、これは岡山県に隣接する広島県や兵庫県よりも多いため、必然的に岡山県からの旅客流入数も最大となっている。
- 問10 広島県の工業において、製造品出荷額の36.2%を「機械工業」が占めている背景や理由として、適切な説明はどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）
1. 自動車の製造や造船などの加工組立型産業が集積しているため。
 2. 広大な農地を活かした食料品加工業が県の全域で発達しているため。
 3. 石油化学コンビナートが集中し、プラスチックなどの生産が最大であるため。
 4. 高速道路沿いにIC（集積回路）を生産する電子部品工場が集中しているため。
- 問11 高知県における、なすなどの野菜の生産の特徴を説明した文として最も適切なものを、統計資料から得られる「2月から5月に東京都中央卸売市場への入荷が集中している」という事実に基づき選択しなさい。（2024年 埼玉県公立入試 類似）
1. 大消費地に近い立地をいかし、輸送費を抑えて新鮮な野菜を毎日出荷する工夫をしている。
 2. 冬でも温暖な気候をいかし、ビニールハウスを使って他の地域よりも早く栽培する工夫をしている。
 3. 広大な土地をいかし、大型機械を用いて少ない労働力で大量の作物を生産する工夫をしている。
 4. 高冷地の涼しい気候をいかし、夏から秋にかけての出荷時期を遅らせる工夫をしている。
- 問12 日本の地方別産業統計において、人口規模が約1100万人であるのに対し、瀬戸内工業地域の存在により工業生産額が約36兆円と高い水準にある一方で、農業生産額は約0.9兆円と他地方に比べて低い特徴を示す地方区分はどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）
1. 北海道地方
 2. 中国・四国地方
 3. 九州地方
 4. 東北地方

答え合わせ・解説

問1	答え 3 3つのルートの中で唯一、鉄道が走行できる構造になっている。	岡山県と香川県を結ぶ児島・坂出ルート（瀬戸大橋）は、本州四国連絡橋の中で唯一、JRの列車が走行する鉄道道路併用橋となっています。これにより、特急列車や貨物列車が四国と本州を直接行き来することが可能になりました。自転車や歩行者が渡れるのは「しまなみ海道（尾道・今治ルート）」の特徴です。
問2	答え 1 京都府・兵庫県・鳥取県	山陰海岸ジオパークは、日本海が形成された際の地殻変動の痕跡や、多様な海岸地形が観察できる広大なエリアです。この地域は行政区画をまたいで指定されており、東端の京都府から中央の兵庫県、西端の鳥取県までの3府県が協力して保存や観光ガイドなどの活動を行っています。地図上で日本海側のラインを意識すると、京都から鳥取までの連続した範囲であることがわかります。
問3	答え 1 製造品出荷額が8兆円を超えて非常に高く、さらに世界遺産などの観光資源により宿泊者数も多いという、工業と観光のバランスが取れた構造である。	広島県は、厳島神社や原爆ドームといった世界的な観光地を有するため宿泊者数が非常に多い一方で、重化学工業を中心とした製造品出荷額も全国上位に位置しています。これに対し、山形県は米、和歌山県は果実（ミカンなど）の農業産出額に特徴があり、京都府は観光面での強さが際立っていますが製造品出荷額の規模では広島県に及びません。
問4	答え 4 急な斜面が多く、日当たりや水はけが良い土地条件を活かして栽培が行われてきたため。	愛媛県では瀬戸内海沿岸を中心に山地が海に迫っており、その急斜面を「段々畑」として利用しています。傾斜地は平地に比べて日当たりが良く、さらに水はけも良好であるため、甘くて質の良いかんきつ類の栽培に最適な環境となっています。
問5	答え 2 オリーブ	瀬戸内地域の「温暖で雨が少ない」という気候は、地中海沿岸に見られる地中海性気候と似た特徴を持っています。このため、乾燥に強く温暖な気候を好むオリーブの栽培に適しており、小豆島は日本における主要な産地として知られています。他の選択肢のうち、さくらんぼはりんごと同じく冷涼な気候を、さとうきびはより亜熱帯に近い高温多湿な気候を好みます。
問6	答え 2 核家族化や高齢化が進み、一人暮らしや二人家族といった少人数世帯の割合が増えたため。	鳥取県では、総人口が減少しているにもかかわらず世帯数が増加するという「世帯の細分化」が起きています。この背景には、高齢者の単身世帯（一人暮らし）や夫婦のみの世帯（二人家族）が増加し、かつて主流であった5人以上の多人数世帯が減少しているという家族構成の変化があります。人口が減っても、一世帯あたりの人数がそれ以上のペースで少なくなれば、世帯の総数は増えることになります。
問7	答え 2 野菜	四国地方の農業は、高知県を中心とした野菜の生産が非常に盛んである点が特徴です。2010年のデータでは、野菜の産出額が総額の33.5%を占めており、果実（みかんなど）や畜産、米と比較しても最大の割合となっています。これは、温暖な気候を活かした高付加価値な農業が展開されていることを示しています。
問8	答え 1 ため池	瀬戸内の地域は、夏は四国山地、冬は中国山地が湿った空気を遮るため、雨が非常に少ない地域です。大きな河川も限られているため、稲作などに必要な農業用水を確保するために雨水を貯めておく「ため池」が発達しました。特に香川県の讃岐平野などには、現在も数多くの池が点在しています。
問9	答え 3 瀬戸大橋の開通によって交通の利便性が飛躍的に向上し、香川県を訪れる県外旅客のうち、隣接する岡山県からの割合が約半分に達するほど交流が活発である。	岡山県と香川県は瀬戸内海を挟んでいますが、瀬戸大橋という強力な交通インフラによって結ばれています。2019年の統計において、香川県を訪れる他都道府県からの旅客のうち、岡山県からの割合が46.8%と突出している事実は、橋の存在が両県の境界を越えた一体的な生活圏や経済圏を形成していることを示しています。
問10	答え 1 自動車の製造や造船などの加工組立型産業が集積しているため。	瀬戸内工業地域は、沿岸部の埋め立て地を利用して鉄鋼や石油化学などの重化学工業が発展しましたが、広島県においては特に「加工組立型」の性質が強い自動車産業や造船業が発達しています。そのため、製造品出荷額等の構成においても、金属や化学を抑えて機械工業の割合が高くなっているのが特徴です。
問11	答え 2 冬でも温暖な気候をいかし、ビニールハウスを使って他の地域よりも早く栽培する工夫をしている。	高知県で行われている促成栽培の背景には、冬の気温が高いという自然条件があります。ビニールハウスを用いて内部の温度を保つことで、市場での需要が高い冬から春にかけての出荷を実現しています。これに対し、夏から秋に出荷を遅らせる方法は「抑制栽培」と呼ばれ、主に長野県などの冷涼な地域で行われています。
問12	答え 2 中国・四国地方	この地方区分では、瀬戸内海沿岸に形成された瀬戸内工業地域に石油化学コンビナートや自動車工場などが集積しており、工業生産額が経済規模の中で大きな割合を占めています。誤答選択肢である東北地方や九州地方は、広大な平野や温暖な気候を活かした農業が盛んであり、農業生産額が数兆円規模に達するため、農業生産額が1兆円を下回る中国・四国地方との明確な判別ポイントとなります。